

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PCテクニック		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	PCテクニック	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース			教員の 実務経験の有無	非該当	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用					
授業概要						
PC各種アプリケーションの活用方法や社会人としての人間カスキルをオンデマンド授業を通して学ぶ						
到達目標						
授業内でのPC作業や卒業後も応用できるPCテクニック、社会人としての人間力を身につける						
授業計画・内容						
【前期】 1～7回目	コンピュータ内部の理解／時間の使い方／タスク管理方法について／相手の心を掴むプレゼンテーション術／伝わるプレゼンの作り方／Google スライドだからできるワンランク上のプレゼン／Canva AIで手軽に資料作成					
【前期】 8～11回目	プロジェクトマネジャーの基本／Googleスプレッドシートで進捗管理する方法／Googleスプレッドシートでプロジェクト管理／Googleスプレッドシート基礎トレ-全自動カレンダー 編-					
【前期】 12～15回目	能動的に人生と仕事を動かす「タスク管理」／うまく回る「情報共有の仕組み」づくり 新入社員向けExcel術一表の見せ方&計算チェックー／最速のExcel術					
【後期】 16～24回目	“伝わる文章“の基本／簡潔なメール文への添削／ビジネスメールの書き方／「わかってるな」と思われる報連のしかた／Word による文書作成の基礎・知っておくべき段落書式・スタイル機能の基礎					
【後期】 25～31回目	議事録係の準備について／議事メモを制する者は会議を制す／議事メモから“シゴデキ議事録”へ／自分もチームも変える3つの視点／情報の収集・集計・分析をGoogle フォーム × Google スプレッドシートで自動化／瞬時に共有できるGoogle Keepでビジネスを加速しよう／Google サイで情報をひとまとめにして共有					
【後期】 32～38回目	「可愛がられる」は才能ではなくスキルである／大きな桁の掛け算・割り算のコツ／秒で完成-パワボスライド作成-／なぜ、私たちはPowerPoint資料を作るのか／名刺で学ぶCanvaとデザインの基本／Canvaプレゼンテーション活用術／アイデアを形にする企画整理					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PC応用		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	PC応用	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大学にてジャズギターを学んだ後、卒業後はCM作曲家として活動を始め、現在に至るまで作曲や、楽曲のプレゼン、楽曲とコンテンツ(画像・動画等)を合わせた納品等を行う。					
授業概要						
GarageBand、Illustrator、Photoshop、Animate CC等、クリエイティブなソフトを使用方法を学ぶ。						
到達目標						
GarageBand、Illustrator、Photoshop、Animate CC等のソフトの使用法の習得。デザイン能力向上。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	GarageBand ・基本操作説明・用語等の説明・打ち込み練習					
【前期】 6～11回目	GarageBand 課題曲打ち込み					
【前期】 12～15回目	Excel ・1年生で学んだ機能等の復習問題・1年生で触れなかった関数等の説明&応用					
【前期】 16～18回目	Illustrator&Photohshopを使用して、フライヤー作成方法、入稿の説明 前期試験					
【後期】 19～25回目	Illustrator&Photohshopを使用したフライヤー作成作業					
【後期】 26～31回目	PowerPoint ・基本操作説明・作業・PowerPoint発表					
【後期】 32～35回目	Photoshop ・1年生で触れなかった機能等の説明&応用・作業 後期試験					
【後期】 26～37回目	総復習					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ポストプロダクション講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	ポストプロダクション講座	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA＆レコーディングコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	レコーディングスタジオからキャリアをスタートさせ、現在は主に民放・BSを中心に旅・バラエティ・音楽番組・各種CMにおいてMA及び選曲・音響効果を担当している。					
授業概要						
映像編集・MA作業について解説し、映像作品が出来上がるまでの一連の流れを学ぶ。						
到達目標						
ポストプロダクションに対する理解を深め、就職の幅を広げる。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	映像制作の流れ 映像制作に携わる人々(職種)紹介 テレビ産業の成り立ち					
【前期】 6～11回目	プロデューサーとディレクターの仕事内容 テレビ局について(ネットワーク・独立U局・系列局) カメラの高さとアングルについて					
【前期】 12～15回目	照明機材紹介～ライトポジション MAの作業の流れ 納品の系態・ルール					
【前期】 16～18回目	リニア編集とノンリニア編集 キャプチャーカード・ボックスとは？ 前期試験					
【後期】 19～25回目	ビデオ・フォーマット(SDとHD) タイムコードについて、走査線について					
【後期】 26～31回目	モニター(ディスプレイ)について 液晶・有機EL等 液晶の表面処理(グレア・ノングレア)映像の入出力端子					
【後期】 32～35回目	PCの入出力端子、USBの電源供給方式 HDDのフォーマット形式、音声の入出力端子 後期試験					
【後期】 26～37回目	PCオーディオについて(ハイレゾ・圧縮音源の種類・ネットワークオーディオ等)、インターネット放送・配信について					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	プロモーション実習		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	プロモーション実習	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	レコーディングコース・PA&レコーディングコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	イベント総合プロデュース会社で映像制作を中心とした業務に関わる。一方で個人でも映像制作を請け負い、ミュージックビデオをはじめ、幅広いジャンルのコンテンツを手掛ける。					
授業概要						
premiereの基本操作、スチールカメラ撮影における設定と撮影方法、動画制作におけるプロモーションの考え、を学び、MAとの学びと結びつける。						
到達目標						
YouTubeshort動画の撮影・編集、カメラ操作・premiere操作の基礎知識を学ぶ レコーディング系学生に、音を録音した後の工程を体験してもらうことで、音を録る・修正、以外の音を配置する感覚を身につける						
授業計画・内容						
【前期】 1～7回目	授業説明 マーケティング基礎:授業説明、フォルダ管理、ルール説明(リンク切れ禁止) マーケティング基礎とPDCA					
【前期】 8～15回目	SNSマーケティング 動画デザイン分析① 動画制作実習①					
【前期】 16～23回目	テスト対策 Premiere基礎実技 動画デザイン分析②					
【前期】 24～30回目	動画制作実習② 動画制作復習 ショート動画作成					
【後期】 31～40回目	ライブ動画編集①:マルチカメラ編集を使った編集方法を学ぶ 撮影基礎:画角の基本、構図、bps、fpsについて撮影時の注意事項					
【後期】 41～50回目	カメラの設定について(解像度、iso、絞り値、SS、WB)					
【後期】 51～62回目	カメラ実習①:実際のカメラをセッティングし、カメラワーク、スイッチングワークを体験する/Ae基礎① 動画制作実習③/UIの説明、基本編集操作/オブジェクト作成/テキストアニメーション/エフェクト、キーフレーム 授業内で作成した動画提出					
【後期】 63～74回目	卒業制作／スマホなどで撮影した素材を使って編集 卒業制作完成、視聴会／完成、提出。視聴会					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	Avid Learning 101&110		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	Avid Learning 101&110	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	33回(66単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	レコーディングスタジオで7年間アシスタントとして多くのことを学び、その後レコーディングエンジニアだけではなく、5000人規模のライブ録音や50人規模のライブPAなど音を操る場で幅広く活動。					
授業概要						
世界中の音楽スタジオや楽曲作成には欠かせない音楽ソフトウェアのProToolsの基本的な操作方法と技術を学ぶと同時にAvid社公認ProToolsオペレーター#101, #110の取得を目指す。						
到達目標						
Avid社公認ProToolsオペレーター#101及び#110の取得。ProToolsを通じてサウンドエンジニアとしてあらゆる場面で活躍できる人材になることを目的とする。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	Avidの基本とワークフロー理解 イントロダクション - Avidの概要とDAW(Pro Tools)の基本概念/Pro Toolsのインターフェース - メニュー、ウィンドウ、ショートカットの理解/プロジェクトの作成とセッション管理 - ファイル構造、セッション設定、バックアップ					
【前期】 5～8回目	録音の基礎 トラックの種類と設定 - オーディオトラック、AUX、MIDI、インストゥルメント/オーディオ録音 - マイク設定、入力レベル調整、パンチイン・パンチアウト/MIDIの基礎 - バーチャルインストゥルメント、MIDIノート編集					
【前期】 9～12回目	オーディオ編集の基本 波形編集 - カット、フェードイン/アウト、クリップゲインの操作/タイムストレッチ &ピッチシフト - Elastic Audioの基本/グリッド&テンポマッピング - メトロノームとBPM設定					
【前期】 13～17回目	ミキシングの基礎/前期試験 基本的なミキシング - バランス調整、パンニング、ゲインステージング/EQ(イコライザー)の基礎 - 周波数帯域の理解、カット&ブーストテクニック/ダイナミクス処理 - コンプレッサー、リミッター、エキスパンダー					
【後期】 18～21回目	空間処理とオーディオエフェクト(リバーブ&ディレイ - 空間系エフェクトの使い方と設定/コーラス・フェイザー・フランジャー - モジュレーションエフェクトの理解) 高度な録音技術(マルチマイク録音 - ステレオテクニック、フェーズ管理)/ボーカル録音とエディット - ピッチ補正(Melodyne、Auto-Tune)					
【後期】 22～25回目	アドバンスドエディティング(高度なElastic Audio - ナチュラルなタイムストレッチの技術/オートメーションの活用 - ボリューム、パン、エフェクトオートメーション)					
【後期】 26～29回目	プロフェッショナルミキシング サチュレーション&ディストーション - アナログサウンドの再現/パラレルコンプレッション&マルチバンド処理 - モダンミキシングテクニック/ミックスバス処理 - ステレオバスのコンプレッション&EQ					
【後期】 30～33回目	マスタリングと納品(マスタリングの基礎 - ラウドネス規格(LUFS)、ダイナミクス管理、リミッター設定 - 配信向け音圧調整) 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ProTools実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	ProTools実習Ⅱ		年次	2年次
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	33回(66単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA&レコーディングコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	レコーディングスタジオで7年間アシスタントとして多くのことを学び、その後レコーディングエンジニアだけではなく、5000人規模のライブ録音や50人規模のライブPAなど音を操る場で幅広く活動。				
授業概要					
レコーディングスタジオでのProToolsの操作方法等についての学習。					
到達目標					
ProToolsにおける編集操作、バランスの取り方、プラグインの使い方などの習得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～4回目	新規セッションについて(ダッシュボード、Sampling,bit rate,etc) セッション、ファイル管理について(フォルダー階層)/オケ+ヴォーカルのバランス				
【前期】 5～8回目	マルチトラック編集(編集ツール・ナッジ/Beat ditective/Erastic Audio)				
【前期】 9～12回目	ミックスバランスについて(プラグイン/ルーティング、ベーシックフォルダー、VCA グループ、バンドミックス)				
【前期】 13～17回目	ナレーション編集(RX プラグイン作業/Erastic Audio 前期試験				
【後期】 18～21回目	アレンジについて(インストトラックの活用(プラグイン)/ミックス)				
【後期】 22～25回目	ミックスバランスについて(バンドミックスor VoSampleRec/元音源に合わせて忠実にミックスする)				
【後期】 26～29回目	ミックスについて(音圧レベル、バランスの補正、方向性のコミュニケーション、最終調整) 後期試験				
【後期】 30～33回目	総復習				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PA実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	PA実習Ⅱ		年次	2年次
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	89回(178単位時間)	年間単位数 5単位
科目設置コース	PA&レコーディングコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	PA会社からキャリアをスタートさせた後、フリーランスのPAエンジニアとして活動。ライブハウス、コンサート、フェスなど、様々な規模の現場を経験し現在に至る。				
授業概要					
コンサート現場で使用されている機材を使って反復練習を行い、一つ一つ確実に技術を習得する。					
到達目標					
デジタル機材への理解を深め、現場における即戦力能力を身に付ける。					
授業計画・内容					
【前期】 1～10回目	実習教室：12号B2システム説明/Session1 TB SD7の基本(音が出せる TB GEQをINSERT/Levelコントロール USB/機器のレベル合わせ/Bank)				
【前期】 11～19回目	チューニング(MainとSTAGEの環境作り/USB MADI/MainとSTAGEの環境作り) Dr3点、Bass、Gtサウンドチェック(Micアレンジ/RECして聞き比べ)/野方企画準備				
【前期】 20～31回目	音源再生MIX(マルチ再生の仕方)、Q225をMoni 卓へ、REAMPの使用、RECして聞き比べ				
【前期】 32～43回目	簡単なSmarrt測定EON/Delay合わせ等(機材のPhase/Delay)、Smarrt測定応用 前期試験				
【後期】 44～56回目	スタフェスシミュレーション～本番 様々な現場の音源出し(イベント・結婚式)/チューニング				
【後期】 57～68回目	企画Liveシミュレーション～Live準備 SX300フライング/レベル合わせ/音源再生				
【後期】 69～78回目	アンサンブルライブ実践 後期試験				
【後期】 79～89回目	様々な現場の音源出し(カラオケ・Band)				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	レコーディング実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	レコーディング実習Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	87回(174単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	レコーディングコース、PA＆レコーディングコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	レコーディングスタジオで7年間アシスタントとして多くのことを学び、その後レコーディングエンジニアだけではなく、5000人規模のライブ録音や50人規模のライブPAなど音を操る場で幅広く活動。					
授業概要						
実際にアーティストのレコーディング～MIX～マスタリングやアフレコ収録など幅広く学ぶ。						
到達目標						
業界水準レベルの技術の習得						
授業計画・内容						
【前期】 1～10回目	BandSetting(基礎)・シグナルの確認 Neve Genesys / SSLの操作					
【前期】 11～19回目	Band Recording・SSW Recording Band Recording・mix					
【前期】 20～31回目	Band Recording・SSW Recording Band Recording・mix					
【前期】 32～43回目	Narration Rec(練習/本番/編集/ミックス)					
【後期】 44～56回目	BandSetting(応用)・卓Mixバランス(基礎) 前期試験					
【後期】 57～68回目	Band Recording・SSW Recording Band Recording・mix					
【後期】 69～78回目	Band Recording・SSW Recording Band Recording・mix					
【後期】 79～87回目	アフレコ練習 / mix バランス(応用) / アフレコ収録編集・試聴会					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						